

小水力発電をもっと身近に

ー若桜町小水力発電パーク化計画ー

活動地域  鳥取県若桜町



完成したらせん水車「ピコピカ」の動作確認

課題

若桜町では脱炭素化の取組みと自然エネルギーの利活用が進んでいない。地域にある自然資源、特に水資源を活用した小水力発電を増やすことが課題である。

目標

自然エネルギーに関心を持ってもらうこと、関わる担い手を増やすことが重要で、町内に小規模な小水力発電設備を増やすことで自分でも取り組んでみようと思う人を増やす。



今後の展望

予定していた種類・数の水車設備の設置ができ、関心を持つ人も少しずつ増えてきている。今後はさらに町内各所に設備を増やしていく。多くの町民が水車や発電設備にふれる機会を増やし、さらに関心を高めたい。

ひろげる助成

1年目

実践

活動内容と成果

小水力発電や地域づくりについて関心を高め、地域住民主体のエネルギー事業を増やすことを目的として、町内に小規模な小水力発電設備を設置しながら、同時にその担い手も増やすためのワークショップやセミナーを開催している。また、複数の種類の水車を設置することで、「小水力パーク」として学びや情報発信の場として利用する。

今年度は、河川、農業用水路といった町内の条件に合う水車を比較検討し、それぞれの特性等を学びながら設置した。発電した電気を利用するだけでなく小水力発電についての技術や知見を地域に蓄積する。



水車の羽も自分たちで組み立てる

らせん水車
ワークショップ参加者 **6人**

小規模小水力発電
設備設置 **2基**

今年度計画の達成度 **90%**

全体計画の達成度 **30%**

苦勞した点と工夫した点

■苦勞した点

小水力発電は水量や落差等、条件に合う場所と発電した電気を利用する場所が離れていることが多く、適地を見つけることが難しい。

■工夫した点

落差のない水路に合う安い水車がな。そこで、水車を手作りする手法を学び、コストを抑えて導入を容易にする手段を検討した。